



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年8月13日

上場会社名 アウトLOOKコンサルティング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5596 URL <https://www.outlook.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 泰文
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部長 (氏名) 河野 勉 (TEL) 03(6434)5670
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	431	3.7	131	5.5	131	5.4	91	5.8
2025年3月期第1四半期	416	—	124	—	124	—	86	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	28.95	28.84
2025年3月期第1四半期	24.21	24.08

(注) 当社は、2024年3月期第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、2025年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,898	1,038	54.7
2025年3月期	1,229	966	78.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 1,038百万円 2025年3月期 966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	20.9	580	15.8	580	16.2	402	6.8	127.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	3,579,812株	2025年3月期	3,579,812株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	426,526株	2025年3月期	412,920株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	3,160,324株	2025年3月期1Q	3,570,897株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

日本経済は、国内物価の上昇を背景に内需主導による成長が持続されていますが、個人消費においては物価高による消費者心理への悪影響も懸念され、個人消費の拡大は緩やかになると想定されています。そうしたなか、米国政府による関税引き上げ政策やそれに対する各国の対抗措置による外国為替の変動や、サプライチェーンの見直しの必要性、世界的な景気後退懸念など今後の先行きに対する不透明感が増しています。

このような状況下、事業の進捗、見通しを把握、分析する企業の経営管理の重要性は益々高まっていくと想定されます。当社では当社独自の経営管理システムであるSactonを活用し、企業のような経営管理手法に柔軟に対応、設計し、正しくタイムリーな情報に基づく顧客企業意思決定を支援するソリューションを提供しています。

なお、当社はSactona事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(売上高)

当第1四半期累計期間における売上高は、431,452千円（前年同期比3.7%増）となりました。ベースビジネス売上高においては顧客増及び既存顧客による追加受注の結果、198,102千円（前年同期比18.0%増）となりました。一方、コンサルティングビジネスにおける売上高は233,349千円（前年同期比6.0%減）となりました。

(売上原価、売上総利益)

当第1四半期累計期間における売上原価は、128,225千円（前年同期比9.7%減）となりました。これは主にインフラサービス関連費用は増加したものの、外注費が減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期累計期間における売上総利益は303,226千円（前年同期比10.6%増）となりました。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

当第1四半期累計期間における販売費及び一般管理費は、171,719千円（前年同期比14.8%増）となりました。これは主な内容としては営業部門、管理部門の人員の増加によるものであります。

この結果、当第1四半期累計期間における営業利益は131,506千円（前年同期比5.5%増）となりました。

(営業外収益、営業外費用、経常利益)

当第1四半期累計期間における営業外収益の計上はありませんでした。当第1四半期累計期間における営業外費用は、自己株式の取得における支払手数料により164千円となりました。

この結果、当第1四半期累計期間における経常利益は131,342千円（前年同期比5.4%増）となりました。

(特別利益、特別損失、法人税等合計、四半期純利益)

当第1四半期累計期間における法人税等合計39,862千円を計上した結果、当第1四半期累計期間における四半期純利益は91,480千円（前年同期比5.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,832,084千円となり、前事業年度末に比べ700,597千円増加しました。これは主に現金及び預金が719,175千円増加したことによるものであります。

固定資産は66,589千円となり、前事業年度末に比べ31,482千円減少しました。これは主に繰延税金資産が30,083千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,898,674千円となり、前事業年度末に比べ669,115千円増加しました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は859,916千円となり、前事業年度末に比べ597,176千円増加しました。これは主に契約負債が657,456千円増加し、賞与引当金が85,851千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、859,916千円となり、前事業年度末に比べ597,176千円増加しました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,038,758千円となり、前事業年度末に比べ71,938千円増加しました。これは主に、当第1四半期累計期間における四半期純利益91,480千円の増加を計上したこと及び自己株式の取得と新株予約権の行使に伴う処分による17,262千円の減少を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.7%(前事業年度末は78.6%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想については、2025年5月13日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の予想数値に変更はございません。

今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	873,737	1,592,913
売掛金及び契約資産	250,937	220,289
その他	6,811	18,882
流動資産合計	1,131,487	1,832,084
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,560	2,488
工具、器具及び備品(純額)	29,879	28,552
有形固定資産合計	32,439	31,041
無形固定資産		
ソフトウェア	0	—
無形固定資産合計	0	—
投資その他の資産		
差入保証金	18,968	18,968
繰延税金資産	46,663	16,579
投資その他の資産合計	65,631	35,548
固定資産合計	98,071	66,589
資産合計	1,229,559	1,898,674
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	59,658	13,699
契約負債	30,258	687,715
賞与引当金	122,112	36,261
その他	50,709	122,240
流動負債合計	262,739	859,916
負債合計	262,739	859,916
純資産の部		
株主資本		
資本金	145,079	145,079
資本剰余金	45,079	45,079
利益剰余金	1,210,248	1,299,448
自己株式	△433,587	△450,849
株主資本合計	966,819	1,038,758
純資産合計	966,819	1,038,758
負債純資産合計	1,229,559	1,898,674

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	416,145	431,452
売上原価	142,014	128,225
売上総利益	274,131	303,226
販売費及び一般管理費	149,523	171,719
営業利益	124,607	131,506
営業外費用		
支払手数料	—	164
営業外費用合計	—	164
経常利益	124,607	131,342
税引前四半期純利益	124,607	131,342
法人税、住民税及び事業税	8,920	9,778
法人税等調整額	29,240	30,083
法人税等合計	38,160	39,862
四半期純利益	86,446	91,480

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、当第1四半期累計期間において、新株予約権の行使により、資本金が3,060千円、資本準備金が3,060千円増加し、当第1四半期会計期間末において、資本金が144,460千円、資本準備金が44,460千円となっております。

当第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はSactona事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	3,906千円	3,206千円